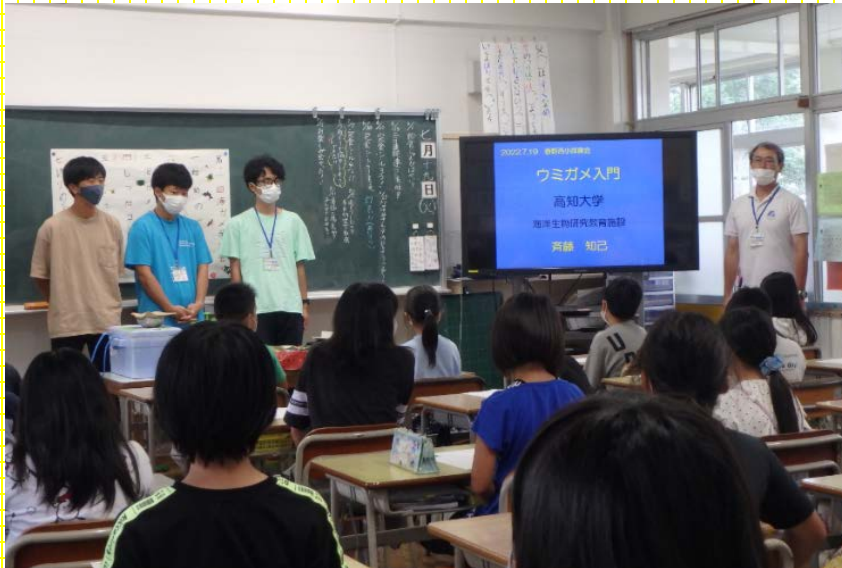


令和4年度

ウミガメ学習会

高知大学総合研究センター海洋生物研究教育施設の齊藤知己教授と研究生が
高知市立春野東小学校と高知市立春野西小学校の四年生へ
ウミガメ学習会を開催してくれました。



高知大学の学生の方々も講師となって来てくれました。



学習のあとは海岸の清掃活動を積極的に行ってくれました。

採卵と移植



安定期に入った卵を研究者の指導のもと、上下が逆にならないよう慎重に採卵し小学校内にある孵化場へ移植しました。

砂が乾かないよう水をまくコツを教わったり、分からないことは質問してメモをとっていました。子ガメの誕生を心待ちにしている表情は凜々しく、なかにはやわらかな目元をされている生徒さんもいました。



教室での学習



- ① 日本で産卵するウミガメ類
- ② アカウミガメの一生と産卵
- ③ 卵のひみつ
- ④ アカウミガメのふ化・脱出について
- ⑤ 子ガメのひみつ
- ⑥ ウミガメを脅かす要因
- ⑦ 高知県の産卵地の現状

高知海岸で産卵したアカウミガメの卵を触らせてもらいました。純白色をしたピンポン球状をしていて割らないように、優しく慎重に触れていました。

性別は孵化したときの環境（砂の温度）で決まり、29～30℃付近を境として、それ以下だとオスが多くなり、それ以上だとメスが多くなります。29～30℃付近の場合はオスとメスが半分になるそうです。

ただ、地球温暖化が進む現在は気温や海水、砂の温度が高くオスに比べて、メスの方が多く生まれバランスが崩れているのが現状。また、33℃以上の猛暑や雨不足により全滅状態となった事例も増えてきているとのことです。



高知大学 総合研究センター 海洋生物研究教育施設に招いていただき研究内容や、見たことのない器械などの説明をしてもらいました。



生まれたばかりのアカウミガメの赤ちゃんを観察しました。

孵化するとき、卵の殻を割るための**卵角**（くちばし上の突起）を見ることができました。成長するにつれて無くなるそうです。



小学生から齊藤教授へ質問

1

Q：産卵時間はどのくらいかかりますか？

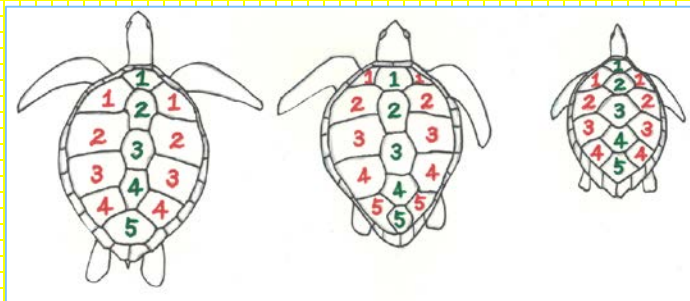
A：環境にもよるが1時間から5時間くらいかかる場合もある。
産卵時はとても神経質になっているため、音や光などの影響により途中で産卵を止めて海に戻らざるを得ないことがある。
そして、安心して産卵できる場所を再度探さなければならなくなる。

ゴミなどがあると産卵の妨げになってしまいます。
マナーある行動を心がけましょう。

2

Q：甲羅のうろこの数を教えてください。

A：カメの種類によって異なり、高知県に上陸するアカウミガメでは主なうろこである、
左肋甲板：椎甲板：右肋甲板 は **5：5：5** となり、計15枚と数えられます。
何らかの原因でうろこの数が異なる場合がありますが、そのカメには他にも健康上の問題があるなどして長生きできないことが多いです。



アオウミガメ

アカウミガメ

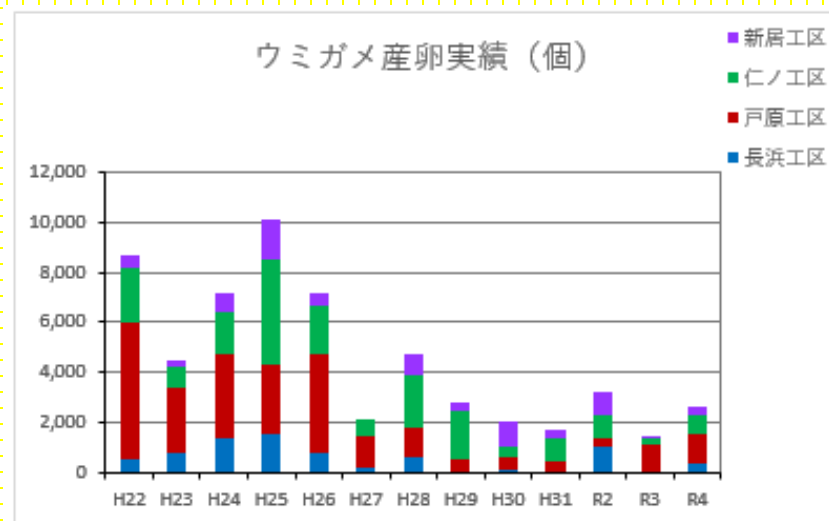
タイマイ

子ガメの甲羅は柔らかく、成長するにつれて硬くなっていきます。
また、ある時期には成長して厚くなった、うろこ1枚1枚が剥がれることがあるそうです。

アカウミガメ産卵実績

高知海岸直轄工区

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4
長浜工区	543	756	1,352	1,544	784	182	581	0	134	0	1,005	0	321
戸原工区	5,415	2,670	3,388	2,776	3,913	1,265	1,236	526	479	409	323	1,084	1,244
仁ノ工区	2,174	812	1,696	4,222	1,935	658	2,088	1,932	419	938	1,000	287	729
新居工区	546	279	709	1,540	562	0	787	366	995	317	896	109	341
合計	8,678	4,517	7,145	10,082	7,194	2,105	4,692	2,824	2,027	1,664	3,224	1,480	2,635



高知海岸は四国で最大のアカウミガメの産卵地です。

産卵に帰ってくるには、海岸に廃棄ゴミがないことが大切です。地元の方々や高知海岸パートナーシップ団体の皆様の清掃活動により美しい砂浜が維持されています。

未来へ繋ぐことができるよう、これからも皆様のご協力をお願いします。